



接続の言葉 - 1

接続の言葉 (接続詞など) は文章と文章との関係を表す働きをします。接続の言葉をうまく使うと文章の流れがわかりやすくなります。読む人は接続の言葉の後に来る文章の内容をある程度予測できるからです。小論文に見られる接続の言葉は大体次のようなものです。

General but

1. 前の文とは合わないこと、反対のことを後の文で言う

however, but

しかし・だが → 後の文で前の文とは合わないことを言う。

・このテキストは少し難しい。しかし、非常に役に立つ。

・人間の手仕事は機械より能率が悪い。だが、機械にはない温かさがある。

even so / however, still, even though

ところが → 後の文で前の文から予想したこととは逆のことを言う。意外感を表す。

・古い歌だから知っている人は少ないと思った。ところが、ほとんどの人が知っていた。

・時間をかけて子どもが喜びそうなおもちゃを作った。ところが、子どもはただ怖がるだけだった。

対立
opposite

予想
expectation
意外感
unexpectedness

2. 前の文から考えて当然ではないことを後の文で言う

"and yet", nevertheless

(それ) にもかかわらず それでも → 後の文で前の文に影響されないことを言う。

・ここは禁煙である。にもかかわらず、ここでたばこを吸っている人がいる。

・この本の内容はもう古い。それにもかかわらず、今でもよく読まれている。

・いろいろなやり方で試してみた。それでも、結果は同じだった。

と「が」
natural

although one might say, although

といっても → 後の文で前の文から予想されることと違う程度や実情を言う。

・来年この会の規則が変わる。といっても、「会費」の部分が変わるだけだ。

・体重が2キロ減った。といっても、何かダイエットをしたわけではない。

程度
degree

現実
reality

nevertheless natural
while it may be true)

negate what one may want to do

- だからといって →後の文で前の文の理由から当然考えられることを否定する。
- 読点 (、テン) のつけ方は人によって違う。だからといって、全く規則がないわけではない。
 - たばこは体によくないことは明らかだ。だからといって、法律で禁止できるだろうか。

at any rate, all things considered
それにしても →後の文で前の文から考えて当然ではないこと、不釣り合いなことを言う。

- ここは有名な観光地だと聞いている。それにしても、観光客が少ない。
- 彼の日本語学習時間はまだ300時間だそうだ。それにしても、上手だ。

surely, certainly
確かに...。しかし・だが →あることを前の文で認めておいて、後の文でそれに逆らう内容を言う。 (S1) taking into consideration the truth of the (S1)

- 確かにこの商品はいい。しかし、値段が高すぎる。
- 確かに人間の生活は便利になった。だが、便利すぎて心配になるときもある。

文のつながり

3. 前の文と対比する contrast
one on the other hand / the other side

- それに対して・一方・他方 →後の文で前の文とは対比的なことを言う。
- 新人の候補者 A は新しい変化を訴えている。それに対して、候補者 B は経験と具体案をアピールしている。どちらが勝つか。
 - NHK の番組は広告がない。一方、民間テレビ局の番組はよくコマーシャルが入る。
 - このスーパーでは野菜類がよく売れる。他方、肉や魚類はあまり売れない。

Literally
その反面 / その半面 →後の文で別の面がある、と言う。

- 田中先生の授業はわかりやすくおもしろい。その反面、宿題が多いから大変だ。
- 彼は友だちの間で非常に人気がある。その半面、親とはあまり仲良くないようだ。

Completely something not what you thought opposite.
Start with this one

in comparison

on the other hand

H¹h¹ck
Cause

Cause

4. 前の文の理由・原因を言う Because

H¹h¹ck

というのは・なぜかという・なぜなら →後の文で前の文の理由・原因を言う。
・今年^{れいねん}は例年よりビールがよく売れた。というのは、非常^{ひじょう}に暑い日^{つひ}が続いたからだ。
・和服^{わふく}を着る人が少なくなった。なぜなら、和服^{わふく}は値段も高いし、着るのも大変^{たいへん}だからだ。

It¹h¹i
Result, outcome

5. 前の文から導かれること、結果を言う hence, for that reason

しつ
fact
truth

そのため・その結果 →後の文で前の文が理由で起こった事実、結果を言う。
・この大学は駅から遠い。そのため、駅前から通学^{つうがく}バスが出ている。
・親^{おや}からの送金^{そうきん}だけでは学費^{がくひ}や生活費^{せいかつひ}が足りない。そのため、留^{りゅうがくせい}学生はアルバイトをしなければならない。
・わずかな不^ふ注意^{ちゅうい}から事故^{じこ}になった。その結果、大勢^{おおぜい}の人に迷惑^{めいわく}がかかった。

どい¹h¹ck
natural,
as a matter
of course,
reasonable

reasonable happening したがって →後の文で前の文から当然^{とうぜん}のこととして導^{みちび}かれることを言う。 consequently

・AとBは等しい。BとCは等しい。したがって、AとCは等しい。
・商品^{しょうひん}Aは1万円、Bは2万円である。これに5%の消費^{しょうひぜい}税がつく。したがって、払^{はら}わなければならない金額^{きんがく}は31,500円である。

しつ
deed

しつ
circumstances

そこで →後の文で前の文の事情^{じじょう}に対応^{たいおう}する意志^{いしてき}的な行為^{こうい}を言う。 so, accordingly, now, then, thereupon

薬屋^{りやくや}で買った薬はほとんど効^きかなかった。そこで、インターネットでこの薬^{じょう}の情^{じょう}報^{ほう}を探^{さが}した。 Interaction at the Circumstance
・夏^{なつ}は食品^{しょくひん}が傷^{いた}みやすい。そこで、どんな食品^{しょくひん}が早く傷^{いた}むのか調^{しら}べてみた。

しつ
strong
willed

しつ
interaction

すると →後の文で前の文の動作^{どうさ}に導^{みちび}かれて起こった出来^{でき}事^{こと}を言う。 thereupon hereupon

・1円^{だま}玉^{たま}を10枚^{まい}水^{みづ}の中に入れてみた。すると、そのうち8枚^{まい}は沈^{しず}んだ。
・わからない部分^{ぶぶん}があったので、本の著者^{ちよしゃ}に直接^{ちよくせつ}手紙^{てがみ}を出した。すると、すぐに返^{へん}事が来た。

しつ
action
movement

しつ
lead

6 the thing (here) now is happening because the thing before

しつ
cause